

双葉西小だより

令和5年 2月20日 文責 学校長 窪田 正幸



早くも折り返し地点・・・

2月も半ばを過ぎました。よく、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われるように、特に3学期は過ぎていくのが早く感じられます。すでに、折り返し地点を過ぎ、6年生はあと18日後が卒業式となりました。在校生も、あと21日（5年生は22日）で修了式を迎えます。学年のまとめと次年度への準備期間として、残りの日々を充実させていきたいと思います。

さて、田中修氏著書『植物はすごい』に、「植物たちは、タネができあがると強い子どもが育つように、子どもたちを新天地に放り出すのです。どんな環境に出合っても、強く生きていってほしいとの思いが込められているのです。新天地へ放り出される子どもたちも、その期待を担って親元を離れていきます。植物たちの“親離れ”“子離れ”のよさはすごいのです」と書かれています。もちろん、植物の生態を人間に当てはめることはできませんが、子どもの成長を見取り、子どもと共有し、子どもに自信と新たな目標を持たせ、少しずつ手を離して、自立を支援していくことはとても大切なことだと考えます。大人が感じる『成長への確信』が子どもたちに伝わることで、子どもたちは一つ上のステージに上がろうとするのだと思います。一方で、「手は離しても、目は離すな」と言われるように、常に気にかけていくことは必要ですね。

児童総会 児童会活動の振り返り

13日（月）に今年度の総括を行う児童総会が行われました。例年ですと体育館に3年生以上が集まっての話し合いになるのですが、大人数で一堂に会することができませんので、各教室でのオンラインによる実施となりました。

今年度は、「一人一人の色を集め、星のように輝かせよう」というテーマの元、「あいさつしよう活動」「そうじ3S（すばやく・しずかに・すみずみまで）」「縦割り活動」など、多くの活動に取り組んできました。各クラスからは、その成果と課題について話し合った意見が活発に出されていました。また、各委員会の活動においても、日常活動に加え、感染症対策をしながらの集会活動などの成果が報告されました。

各学級から提出された意見を見たり、児童会本部や各学級の発言を聞いたりしていますと、今年度も全校児童のがんばりをひしひしと感じました。

双葉西小児童会の良き伝統が来年度以降も続いていきますよう、心から願っています。

モニターの進行や提案者、発言者を
真剣に見つめる各学級の子供たち



あいさつ運動

「〇〇さんおはようございます！」本校のあいさつの特徴は、名前を添えて呼びかけることです。毎朝、児童会本部とクラス代表が児童玄関前に立ち、元気にあいさつします。水曜日には、クラスが輪番で「あいさつスターズ」となります。子どもたちの元気なあいさつで、西小の一日は始まります。



双西っこ体操

毎週木曜日の朝、教室にカバンを置いた後、元気に校庭に出てくる子どもたち。体力向上を目的に全校で取り組む「木曜スポーツ」では、今、屈伸や柔軟運動、ジャンプや体幹トレーニングなどを音楽に合わせて行う「双西っこ体操」を行っています。寒い朝も、これで体がぽかぽかしてきます。



校内研究 ～一人1台端末の効果的な活用～

令和4年9月7日発行の『双葉西小だより』で、一人1台端末の活用について書かせていただきました。『令和の日本型学校教育』において「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実が求められていること、その手段の一つとして「一人1台端末」は非常に有効なツールであること、本校でも、授業での一人1台端末の効果的な活用について研究・実践を行っていくことなどが主な内容でした。

1年間を通して、学習の中で、効果的かつ積極的な活用を推進するとともに、校内研究において2本の研究授業を行い、県義務教育課より講師を招聘しての研究会も実施しました。また、1年間取り組んだ事例を財産とするべく、「学校ICT活用指導記録シート」に毎月実践を記入するなど、学校としての取り組みを推進してきました。

下に記した事例は、数多い実践の中から抜粋したものです。1年生も、2学期からの活用となりましたが、その使い方に慣れてきました。高学年になるほど、使い方は高度になるとともに、「文房具の一つ」として使えるようになってきています。今後も学習効果を高めるための一つのツールとして、その活用法の研究・実践を進めていきたいと思ひます。

6年生研究授業の様子



学 年	教 科	内 容 ・ 効 果
1 年 生	図工 国語	いろいろな形をした紙を、カメラ機能を使って写真に撮り、想像をふくらませながら色を付けたり書き込んだりする。何度もやり直せるので数多く試すことができ、友達の作品も画面上で共有できた。 物語教材文を読み、好きなところや理由をタブレットで書き込む。修正が容易で、時間短縮につながった。
2 年 生	国語 音楽	言葉で道案内されたとおりに、タブレット上でキャラクターを動かす。画面上をキャラクターが動くことで、進み方が視覚的に捉えられた。 画面上で音符を並び替えてリズムづくりを行う。様々なリズムにチャレンジしたり、友達同士で交流できたりした。
3 年 生	算数 図工	課題についてタブレットに自分の考えを記入する。大型テレビを使って個人の考えをスムーズに共有することができた。 テーマに沿って、カメラ機能を使って写真を撮り、絵や文字を書き込んで作品をつくる。好きな場所を選び、工夫して加工することができた。
4 年 生	国語 社会	タブレット上にパンフレットを貼り付け、伝わりやすくする工夫を探して付箋を貼る。付箋の取り外しが容易で、友達とも協力してできた。 インターネットを使って調べた事柄をスライドにまとめ、プレゼンテーションする。写真やイラスト、図形等を使ってまとめることができた。
5 年 生	国語 社会	同じ読み方をする漢字の習熟を行う。書き直しや採点が自分自身でしやすくなり、学習効果を高めることができた。 社会科見学のお礼の手紙をタブレットで書く（家庭学習）。家庭での活用に慣れるとともに、他の児童の投稿を参考にすることができた。
6 年 生	社会 外国語	学習内容に関わる参考資料 URL をタブレットに貼り付けておき、調べ学習をする。情報へのアクセスが容易で、効率的に進められた。 タブレット上でプレゼンテーション資料を作成したり、発表したりする。交流し合う中で、資料をより良いものに作り替えていくことができた。

働き方改革に伴う電話対応についての確認

令和4年10月7日付甲斐市教育委員会発出の「学校働き方改革に伴う市内小中学校の電話対応について（お願い）」につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

現在、『平日（授業日）の電話対応は18時まで、また土日祝日等は終日電話対応を行わない』といった対応をさせていただいております。学校からの不在着信があった場合も、18時以降は折り返しの連絡をしていただく必要はございませんので、よろしくお願いします。

夜間や休日に緊急に連絡をとりたい場合は、甲斐市教育委員会学校教育課(055-278-1696)へご連絡ください。市役所の宿直につながりますので、『学校名・児童名・連絡先』をお伝えいただければ、学校から折り返し連絡を入れます。

今後とも、あたたかいご理解と御協力をよろしくお願いいたします。